

2010年度

科目名	情報文化と倫理		
担当教員	中村 雅司		
配当	人社1	コード	23790
開期	後期	講時	火曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	高度化する情報通信技術と社会の関わりについて考える		
目的と概要	情報通信技術 (ICT) は数多くの利便性をわれわれにもたらしています。そのことで、社会のシステム、われわれの生活・行動様式はどのように変容し、今後どの方向に向かっていくのでしょうか。本授業では、演習やグループワークを交えながら、ICTに支えられた現代社会の文化的側面および倫理的側面について、現状を分析し、考察を深めます。		
成績評価法	小テーマごとに出す課題(50%)、および学年末のレポート(50%)で評価します。		
テキスト	授業ごとに資料を配付します。		
参考書	適宜紹介します。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回	情報通信技術の進展 — コンピュータの歴史		
第2回	情報メディアと社会の歴史(1) — 中世までの社会・情報・メディアについて		
第3回	情報メディアと社会の歴史(2) — 活版印刷の発明・産業革命以降の社会・情報・メディアについて		
第4回	インターネット(1) — インターネットの概要(歴史、しくみ、思想)		
第5回	インターネット(2) — インターネットの普及がもたらした現代の文化		
第6回	メディアリテラシー(1) — メディアリテラシーに関する演習(新聞各紙の比較)		
第7回	メディアリテラシー(2) — メディアリテラシーの概要、教育のあり方(世界と日本)		
第8回	メディアリテラシー(3) — インターネットの利用におけるメディアリテラシー		
第9回	情報通信技術と知的財産権(1) — 知的財産権・著作権に関する概論		
第10回	情報通信技術と知的財産権(2) — 情報通信技術と著作権との関わり		
第11回	著作権意識とP2P文化 — P2Pによるファイル共有の是非		
第12回	フリーソフトウェア文化 — 現代のICTを支えるフリーソフトウェアと、その思想		
第13回	情報文化とコミュニティ — 巨大掲示板、SNSなどの文化		
第14回	生活のなかの情報通信技術 — 生活に浸透するICT、ユビキタスコンピューティング技術		
第15回	情報社会の落とし穴 — ICTに関わる犯罪やトラブルと、利用者の意識		